



樹脂フィルムの塩化物イオン透過性評価

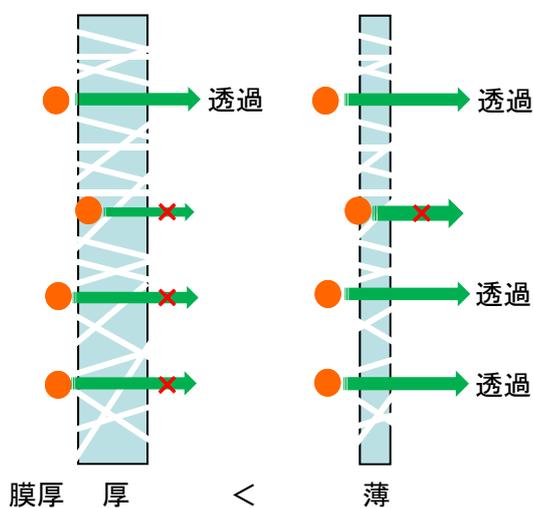
塗膜、樹脂フィルム等のイオン透過性を評価いたします。

樹脂フィルムの塩化物イオン透過性評価

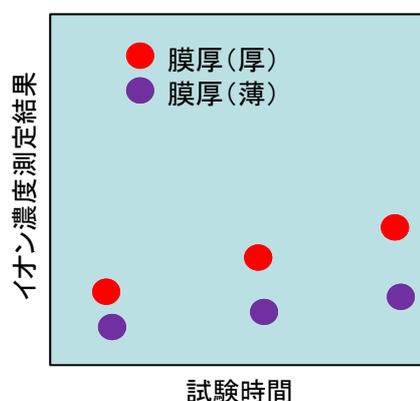
長期間屋外の環境下に曝される建材や構造物に使用される塗装では耐塩害性が必要とされており、塗膜自体の遮塩性の評価が求められています((社)日本道路協会: 道路橋の塩害対策指針(案))。また、包装材料や液晶フィルムなどは様々な環境下で使用されるため、各種イオンに接触する機会が多く、耐イオン性の評価が必要です。

測定原理・試験概要

- 試験対象: 塗装や樹脂フィルムなどの薄膜状の樹脂製品
- 試験液を変更することにより塩化物イオンを初めとする種々のイオンの透過性評価が可能です。
- 評価可能なイオン濃度範囲: 試験環境により異なります(一般的な実験室環境ではppmオーダーでの評価が可能)。



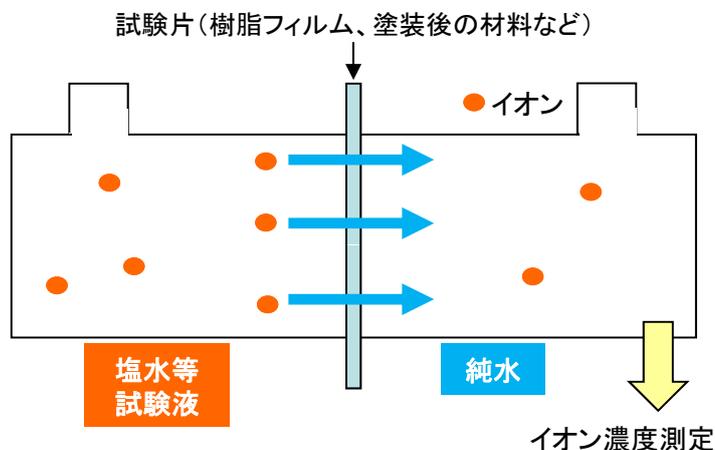
断面の拡大イメージ



樹脂の種類や厚さ等により透過度は変化する

試験結果イメージ

試験フロー



1. 試験片を挟んで一方のセル内に塩水等の試験液を、もう一方のセル内に純水を配置
2. 所定期間静置
3. 純水側の液を取り出し、液体クロマトグラフィー等で評価対象のイオン濃度を測定



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。